



あらすじ

20xx 年。大学教授が人間を自由にコントロールできる腕輪を使い、学生たちを次々と言いなりの奴隷にしていく。

最初は陸上部部長の山田、同じ研究室でレスリング部の亮、そして亮の親友でレスリング部の琢磨、、、。

奉仕、69、アナル開発、アナニー、羞恥露出、亀頭責め、潮吹き、あへ顔晒し、お仕置き、撮影、玉責め、軽メッシー、ナルシストオナ、便器化、緊縛晒し、学祭で亀甲縛り禪姿で的当ての的にされる等、、3人は羞恥と屈辱の中でおとされていった、、、。

主な登場人物

田代（大学教授）：人間をコントロールできる腕輪を開発。真正のサディスト。熊のようながっちりとした体型。

斉藤琢磨（主人公）：3年。レスリング部部員。友達思いの情に熱い男。175 cm 筋肉質であっさりとした顔立ち。亮を脅しに使われ自ら腕輪を装着し、奴隷堕ちした。シロという名前を与えられる。

木村亮（琢磨の親友）：田代の「身体心理学研究室」の学生で、琢磨と同じレスリング部部員。無邪気な性格、細かいことは気にせず明るい。180 cm 筋肉質で男らしい顔立ち。クロという名前を与えられる。

山田俊樹（亮と同じ研究室の先輩）：陸上部キャプテン。人に優しく自分に厳しい、人から自然と好かれるタイプ。田代の最初の実験体。田代にポチという名前を与えられている。教授の虜になりつつある。

西田：他大学レスリング部部員。SNS に投稿された琢磨の痴態を見て、琢磨だと気づき、琢磨を陵辱した。

笑顔

学祭二日目も身体心理学研究室は的当てゲームのブースを運営。禪姿で縛られた筋肉質なイケメン達が、顔や胸、腹、股間に水風船をぶつけられ水浸しになっていく姿に大いにもりあがっていた。一日目と異なるのは最初から琢磨も参加していること。

山田、亮、琢磨の3人は恥ずかしいと思いながらも、尻にいれられたバイブと、その羞恥心で感じさせられ、禪の中でその自身の一物をパンパンに膨らませている、、、。琢磨も教授の命令で強制的に笑顔にさせられ、水をどこにあてられても、ひきつった笑顔をうかべている。表情さえも教授の思いのままだ。中には昨日の中年男たちのように、3人が動けないのをいいことに、体を触ってくるやつらもいたが、されるがままだった、、、。

教授が柱の拘束から解放したかと思えば、体は亀甲縛りのまま、猿轡をして、手は頭の後ろに組み、体に「身体心理学研究室に遊びに来てね。」とマジックで書かれ、メインストリートを歩かされた、、、。最初は山田、、そして亮、、最後に琢磨だ、、、。鍛えられたら筋肉の凹凸、、、引き締まったプリケツ、、もっこり膨れ上がった股間をさらしながら、、、教授の言ったペースでゆっくりと練り歩くのはかなりはずかしい、、、。周りは笑っているし、、琢磨も引きつった笑顔で歩いていくが、、心臓がはちきれほど速く鼓動している。

（ああ、、恥ずかしい、いやだ、、、、、恥ずかしいのに、、興奮している、、ああ、、変態な姿見られて、、俺、、興奮している、、。）

琢磨が1周してブースに戻ってくる頃には山田や亮と同じように、うっとりとした笑顔を浮かべ、竿をびくつかせている。それを見て教授は満足そうに琢磨を抱きしめ出迎えるのであった。辛い状況から戻り、温かく迎え入れられ、琢磨はほっとし、その温もりに感謝した、、、そもそも教授が元凶だというのに、、、。

ゲームをクリアし、写真撮影の際にいやらしく琢磨の尻を撫でていた男に白羽の矢がたち、教授がブース奥に案内。サービスとして、琢磨の体をもっとじ

っくり「堪能していい。」と告げた。

筋肉ムキムキのイケメン大学生の琢磨が頭の後ろに手を組み、男らしく男の前に立っている。

「うは、、、すごい、、、エロイ、、、体すね、、、。じゃあ、、、堪能、、、させてもらおうかな、、、ぐふふふ、、、。」

そう言う男は琢磨の禪のホックを外し、琢磨を全裸にしてしまう。禪が脱げると、中からギンギンに勃起し、汁でいやらしく光っているペニスが飛び出してくる。

ーーーービクンビクンッ！

（ああ、、、、あ、、こんな知らない男に自分の体で欲情されて、好き放題されているのに、、、俺は、、なんで、、、こんな興奮しているんだ、、、。俺は、、女が、、好きなのに、、、、好きなはずなのに、、、、。）

「すごい、、、こんなに興奮して、、お兄さん変態なんだね、、、。」

男はうれしそうに琢磨に近づくと、抵抗しない琢磨のペニスをしごきながら、乳首を舐め始める。

ぺろぺろぺろ、、、ぺろぺろぺろ、、、ちゅば、、、、。

「うう、、あ、あ、、、あ、あ、うう、あ、、、あ、あ、。」

「ふふ、、すごい、、、感じるね、、、お兄さん、、、なんていやらしいんだ、、、。尻を突き出して見せて、、、。」

琢磨は言われた通り、尻を突き出す。尻の中でバイブが振動しているのを見て男は驚くが、そのままそのバイブを出し入れして、琢磨を責め立てる。琢磨が感じているのに満足した男はバイブを抜き去り、自身の硬くなった陰茎を何も言わずに、琢磨に挿入していく。